

ささえ、ささえられて
ホッと、安心～みんなの笑顔

知ってほしい 福祉の**話**

このコーナーでは、福祉の制度やよくある質問についてお知らせします。

第22回目は【障がい者の就労支援事業所「ピュアハート姫」と「ドリームプラザ」の紹介】です。

「ピュアハート姫（多治見市）」と「ドリームプラザ（瑞浪市）」は、障害者自立支援法で定められた、就労継続支援B型事業所です。こちらでは、一般企業に雇用されることが困難な障がい者に働く場を提供するとともに、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行っています。

◆事業内容

訓練・実習および求職活動など就労支援サービスのほか、生活訓練・社会研修、食事会などのレクリエーションを行っています。

○ドリームプラザ利用者の声（Mさん・50歳）

通い始めて10年目になります。日常生活のことなどをみんなと話しながら楽しく仕事をしています。

ここに通いながら、いずれは一般就労ができるようにと思っています。



▲ドリームプラザの様子。車の部品の組み立てや箱折りなどの仕事を行っています。

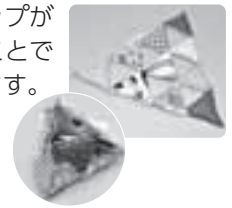
○ピュアハート姫オリジナル商品

使い捨てぞうきんの「クロスパッケン」、7種類のお茶の葉を組み合わせた「ブレンド茶」、エコバックや子どものおもちゃなどを手作りして販売しています。

こんな製品がありました・・・

小さなクッションの角にスナップが付いていて、スナップを留めることでいろいろな形を作ることができます。

「子どもの想像力を高めることもできるのでは・・・」と、ピュアハート姫お薦めの製品です。



◆利用方法

事業所利用のためには、障害福祉サービス利用の支給決定を受ける必要があります。各事業所へご相談の上、市役所福祉課へお出掛けください。

■問い合わせ

▷ピュアハート姫（☎②73744）▷ドリームプラザ（☎⑧9628）▷市福祉課障害・給付係（内線156）

一人ひとりが人権を
尊重する社会を目指して

人権のひろば



【人権に関する市民意識調査の結果】

前回は、「性的指向の異なる人の人権」「性同一性障がい者の人権」についてお知らせしました。今回は「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」「人身取引」についてお知らせします。

※調査結果は、市ホームページでもご覧になれます。

北朝鮮当局によって拉致された被害者等

特に問題だと思ふことを尋ねたところ、全体では、「北朝鮮による日本人をはじめとする他国籍人の拉致そのもの」（55.9%）が最も多く、次いで「北朝鮮拉致問題における日本政府の取り組み」（36.7%）、「北朝鮮拉致問題に対する国際的関心の低さ」（35.7%）となっています。

性別で見ると、女性の方が「分からない」と回答した方が多くなっています。

年齢層で見ると、1位は全体と同じですが、20歳代・40歳代・50歳代では、「北朝鮮拉致問題に対する国際的関心の低さ」が2位となっています。

人身取引

特に問題だと思ふことを尋ねたところ、全体では、「女性や子どもなど弱い立場の人が被害に遭うこと」（33.0%）が最も多く、次いで「児童ポルノや買春を行うなどのモラルの低下」（29.6%）となっています。

性別で見ると、男性は労働環境についての人権問題があるとの回答が多いのに対し、女性は被害に遭う弱者のことや、モラルの低下に問題があるとの回答が多くなっています。

次に人身取引防止のため何が必要か尋ねたところ、全体では、「人身取引を行う犯罪集団の取り締まりを強化する」（53.8%）が最も多く、次いで「人身取引に関する罰則強化など、法制度を整備する」（34.9%）となっています。